

| 授業科目区分 | 授業科目名 | 授業方法 | 単位 | 時間 | 関連の深い授業科目 |
|---|-----------|---|-------------------|----|--------------------------|
| 専門 | 統合医療総合講座1 | 講義 | 1 | 20 | 解剖学・生理学 臨床医学総論・臨床医学各論 |
| 学科・学年 | 担当教員名 | 科目関連 実務経歴 | 実務経歴・分野・授業科目との関連等 | | |
| 鍼灸 2学年 | 竹村千冬 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 特記事項なし | | |
| 授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示 | | | | | |
| <p>ここで学ぶ知識は今年度実施される「臨床実習2」や翌年度に予定される「はりきゅう実技7・8・9」ならびに「臨床実習3」において実施される愁訴や疾患を主題とした診察ならびに施術練習の基礎知識という位置付けとなる。</p> <p>【教育目標】 部位別・系統別の診察法を知り、症状・所見から病態や疾患名を推察できる方法を学ぶ。 症状別に分けた診察法を知り、患者の愁訴から診察の手順・診断の見通しを想起できる知識を養う。</p> <p>【行動目標】 ①本科目履修範囲内から作成された国家試験相当の難易度の多肢選択問題を正答率60%以上で解答できる。 ②症状や所見から想定される診察法や疾患名を述べるができる。</p> | | | | | |
| この授業の概要、助言、学習支援の方法 など | | | | | |
| <p>本科目の内容の理解には「解剖学」「生理学」の理解が必須となる。しかしながらそれらの履修が終わらぬうちに本科目の履修を行っていくため、それらの基礎医学科目の履修を待たずに各々学生自身で、身体の構造や機能を予習して疾患や愁訴の理解に備えたり、逆に本科目の疾患・愁訴の知識から身体の構造や機能に立ち返る復習を行ったりすることを勧める。それにより実技や実習時間で習う施術の修得効率向上に寄与する位置付けとなる科目である。</p> | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | |
| <p>主題として取り扱う教科書は、東洋療法学校協会編「臨床医学総論」 参考として扱うのは東洋療法学校協会編「臨床医学各論」「臨床医学総論・各論追加資料(Web版)」 更に本科目を理解する基礎知識として「解剖学」「生理学」の予習が役に立つ。 予定表中のテーマ欄には、場合によって主として取り扱う内容を【主題】として、また、主題の理解に参考となる内容を【参考】として各々の教科書該当項目とページ数を表記した部分がある。授業の回によって主となる教科書が本科目名と異なる場合があるので注意されたい。</p> | | | | | |
| 受講時留意点、その他 | | | | | |
| <p>【全科目受講時共通事項】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出いたしますので当日中に自己負担で複製下さい。</p> | | | | | |
| 成績評価方法 | | | | | |
| 評価方法 | 評価割合 (%) | 具体的な評価の方法、観点 など | | | |
| 定期試験 | 100 | 毎回の授業内で実施する筆記試験の正答率を成績判定の参考とします。 | | | |
| その他 | | 臨時に成績判定に組み入れる課題を別途追加して評価割合を変更する場合は事前に告知します。 | | | |
| (合計) | 100 | | | | |

| 回数 | 開講 予定日 | テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料 | 授業日誌 | 開講日 | 担当教員 (備考) |
|----|-----------|---|------|-----|--------------|
| 1 | | 臨総08章その他の診察01救急時の診察,02女性の診察,03小児の診察,04高齢者の診察 153-156(4) | | / | 竹村 |
| 2 | | 臨総09章臨床検査法01一般検査 158-164(7) | | / | 竹村 |
| 3 | | 臨総09章臨床検査法02血液生化学検査 165-168(4) | | / | 竹村 |
| 4 | | 臨総09章臨床検査法03生理学的検査および画像診断の概要 169-174(6) | | / | 竹村 |
| 5 | | 臨総11章治療学01概要 267-270(4) | | / | 竹村 |
| 6 | | 臨総11章治療学02薬物治療 270-273(4) | | / | 竹村 |
| 7 | | 臨総11章治療学03栄養食事療法 273-273(1) 04理学療法 274-274(1) 05その他の療法 274-277(4) | | / | 竹村 |
| 8 | | 臨総12章臨床心理01患者の心理 279-280(2) 02心理学的検査・評価方法 281-283(3) | | / | 竹村 |
| 9 | | 臨総12章臨床心理03カウンセリング 283-284(2) 04その他の療法 精神分析・自律訓練法 284-285(2) | | / | 竹村 |
| 10 | | 予備 | | / | 竹村 |
| 試験 | | | | | |